

2017 筑波-UBC グローバルリーダーズ・プログラム

1. 概要

【プログラムの目的】本講は、将来のグローバルリーダーとなる高校生の発達段階に応じたグローバルマインドセット（心理的側面）およびグローバルリーダーシップ・コンピテンシー（行動的側面）を育成することを目的とした大学予科プログラムです。

上記目的を達成するため、筑波セッション（東京）、UBC セッション（バンクーバー）、キャップストーンセッション（東京）の3セッションが相互融合するように計画的にデザインされています。研修生は、専門科目に加え、日本および海外の大学に進学した時に役立つ、国際標準の学習の仕方やリサーチメソッドについて学びます。

本プログラムは全て英語で開講します。

教室内や UBC セッションにおける他国からの高校生との英語コミュニケーションスキルの向上に向けた英語コミュニケーション授業も取り入れられています。

【対象者】

SGH 指定校・アソシエイトに所属する、高校1年生～3年生の生徒（2017年4月1日時点）

【募集定員】

40名まで

【プログラム日程】

①オリエンテーション・キャンプ

日程：2017年4月1日（土）（午前10:00）-4月3日（月）（正午） 場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎／林野会館

②海外研修準備トレーニング（筑波セッション）

（含：イングリッシュ・コミュニケーション、個人研究科目）

日程：2017年4月-7月、土曜日開講

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

③海外研修（UBC セッション）

日程：2017年7月16日（日）-7月30日（日）（I期）

2017年7月30日（日）-8月13日（日）（II期）

*I期かII期のどちらかに参加

場所：ブリティッシュ・コロンビア大学 バンクーバーキャンパス（カナダ） 詳細：<https://cstudies.ubc.ca/programs/future-global-leaders>

④海外研修後トレーニング（キャップストーン・セッション）

（含：英文レポート提出、プレゼンテーション）

日程：2017年8月-9月

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

⑤修了式

日程：2017年9月24日（日） 場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

【選考日程】

①書類提出（一次書類選考）：2016年12月21日（水）午前9時必着（メール送信）

②一次書類選考の結果発表：2016年12月26日（月）正午（同ウェブサイト上）

③二次英語能力・面接試験：2017年1月15日（日）終日 場所：筑波大学附属高等学校＆筑波大学東京キャンパス文京校舎（第一次審査合格者のみ）

④最終合格者の結果通知：2017年1月23日（月）正午（同ウェブサイト上）

【プログラム参加費用】

58万円 下記の費用が含まれます：

オリエンテーション・キャンプの宿泊費と食費（2017年4月1日～3日）■筑波大学、UBC の研修費用および教材費■バンクーバー空港と UBC の往復送迎費、寮費（1日3食費を含む）、各種アクティビティ参加費

AIU こども総合保険

ブリティッシュ・コロンビア州内の医療保険（UBC でのプログラム受講期間中等）

（参照 <https://cstudies.ubc.ca/programs/future-global-leaders>）

TOEFL テスト受験料（UBC セッション帰国後）

筑波-UBC プログラムのオリジナルシャツ

東京（羽田）-バンクーバー間の往復航空券費

修了式参加費

* 海外旅行保険、電子渡航認証（eTA）、個人的な支出（交通費や文具等）は費用に含まれていません。

* 希望者には、プログラム研修を使用目的とするパソコンを貸し出します。

* カナダへの渡航および UBC 滞在中は、筑波大学教職員が同行します。

2. プログラム詳細と日程

【1. 筑波セッション（筑波大学 東京キャンパス文京校舎）】

筑波セッションは、4月から7月の間、毎月土曜日に2〜3回行われます。このセッションは、a. 英語コミュニケーション、b. ラーニング・ストラテジー（研究メソッド、アカデミック・ライティング、アカデミック・プレゼンテーション）、c. IRP セミナー（Independent Research Project: 個人リサーチプロジェクト）から構成されており、筑波大学教授、准教授、関係者らが指導します。

研修生は、英語ネイティブスピーカーの集中レッスンにより、クラスディスカッション、レポート作成やプレゼンテーション、また UBC（カナダ）滞在中に他国からの高校生らと交流するために必要な英語コミュニケーションスキルを向上させます。

ラーニング・ストラテジーにおける研究メソッドの授業では、個人でどのようにリサーチプロジェクトを設計し、完成させるかについて指導します。また、アカデミック・ライティングとアカデミック・プレゼンテーションのコースでは、どのように研究成果を客観的、且つ効果的に表現するのかについて学びます。

IRP セミナーの主担当アドバイザーたちは、少人数のグループディスカッション（3〜4人の研修生に対して1人のアドバイザー）と個別相談を通して、研修生が各々のプロジェクトを完成させるためのアドバイスをします。

筑波セッションは、筑波大学東京キャンパス文京校舎での2017年4月1日から4月3日の2泊3日のオリエンテーション・キャンプから始まります。このキャンプでは、プログラム・ガイダンス、交流会、そして基本コースが行われます。これは宿泊形式で行われ、全研修生は筑波大学東京キャンパス文京校舎から歩いて5分の林野会館に宿泊します。宿舎には、1名の宿泊スタッフ（レジデント・アシスタント）と、数名の大学生・大学院生アシスタント（ステューデント・アシスタント）が研修生に付き添います。

A. 筑波セッション・オリエンテーションキャンプ（4月）

日程：2017年4月1日（土）午前10:00〜4月3日（月）正午

場所：筑波大学東京キャンパス宿泊：林野会館（筑波大学東京キャンパスから徒歩5分）

プログラム：プログラム・ガイダンス、交流会、英語コミュニケーション、リサーチメソッド入門

B. 筑波セッション（4月-7月、土曜日）

筑波セッションスケジュール（2017年4月-7月）

Dates	Lessons
4月15日	イングリッシュ・コミュニケーション 1 (14:00-17:00)
4月22日	講義 1 (14:00-15:20), セミナー 1 (15:30-17:00)
5月13日	イングリッシュ・コミュニケーション 2 (14:00-17:00)
5月20日	講義 2 (14:00-15:20), セミナー 2 (15:30-17:00)
5月27日	イングリッシュ・コミュニケーション 3 (14:00-17:00)
6月10日	講義 3 (14:00-15:20), セミナー 3 (15:30-17:00)
6月17日	イングリッシュ・コミュニケーション 4 (14:00-17:00)
6月24日	講義 4 (14:00-15:20), セミナー 4 (15:30-17:00)
7月8日	講義 5 (14:00-15:20), セミナー 5 (15:30-17:00)
7月15日	イングリッシュ・コミュニケーション 5 (14:00-17:00)

【2. UBC セッション（カナダブリティッシュコロンビア大学 (UBC) バンクーバーキャンパス）】

筑波セッション修了後、研修生は第1期（2017/7/16-7/30）、もしくは第2期（2017/7/30-8/13）のいずれか2週間、カナダブリティッシュコロンビア大学バンクーバーキャンパス（UBC）を訪問します。UBC セッションの目的は、同大学の教授らによる [FGL \(Future Global Leaders\)](#) コースの受講を通して、IRP の研究課題に関連したアカデミックな知識を広げることです。このセッションでは、カナダおよび20ヶ国以上の国々から参加している生徒たちと一緒に学び、生活することを通して異文化対人コミュニケーションを体験できる素晴らしい機会です。

日程：I 期（Term I） 2017年7月16日（日）-2017年7月30日（日）

II 期（Term II） 2017年7月30日（日）-2017年8月13日（日）

* I 期か II 期のどちらかに参加

場所：カナダブリティッシュコロンビア大学 (UBC) バンクーバーキャンパス

a. コース選択

各研修生は、UBC セッションの I 期、もしくは II 期で開講される複数のコースの中から1つに登録されます。適切な人数比率を保つため、各コースにおける本コースの研修生数の上限が定められています。受験生は、アプリケーションに記載されるコースの受講したい優先順位にしたがって、1〜6の番号を記入してください。定員を上回るコースについては、審査スコアにもとづいて受講コースが決定します。

b. 構成とスケジュール

UBC の 2 週間セッションは、午前中のクラス、午後のワークショップ、放課後活動、イブニングプログラム、および週末のエクスカージョンを提供します。コース編成とサンプルスケジュールは、以下の UBC FGL ウェブサイトをご覧ください。
<https://cstudies.ubc.ca/programs/future-global-leaders>

【3. キャップストーン・セッション（筑波大学 東京キャンパス文京校舎）】

キャップストーン・セッションは、個人プロジェクトに基づく最終レポートを提出することにより（UBC から帰国後 2 週間以内）、筑波と UBC の各セッションの総仕上げとして用意されているセッションです。研修生は、2017 年 9 月 24 日に行われる最終プレゼンテーションにおいて、自身のプロジェクトの研究成果を発表します。筑波大学教授らが、個別の発表について評価し、コメントします。

[最優秀論文賞]

最終レポートと最終プレゼンテーションの成果にもとづき、最も優れた生徒は Best Paper Award に選ばれます。

a. 最終レポート

各研修生は、UBC セッションからの帰国後、2 週間以内に、それぞれの最終レポート（2,000 ワード以上、図表を含む）をメールで提出しなくてはなりません。

第 1 期 (Term I) 参加者のレポート提出期限：2017 年 8 月 14 日（月）

第 2 期 (Term II) 参加者のレポート提出期限：2017 年 8 月 28 日（月）

b. 英語（TOEFL）試験

研修生は、2017 年 9 月に UBC セッションからの帰国後、公式 TOEFL テストを受験する必要があります。

c. プレゼンテーション・リハーサル

最終プレゼンテーションに向けて、リハーサルのためのグループセミナーが開かれます。

日程：2017 年 9 月 2 日（土）時間：14:00-16:00

d. 最終プレゼンテーション

日程：2017 年 9 月 24 日（日）（午前）場所：筑波大学 東京キャンパス

フォーマット：10 分間のプレゼンテーション + 5 分間の質疑応答

e. 修了式

修了式は 2017 年 9 月 24 日（日）の午後に予定されています。修了式では、筑波大学副学長から修了証が授与されます。

3. 出願と選抜

【出願要件】

本プログラムへの出願において、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。

- 2017 年 4 月 1 日現在、SGH 関連校（指定校並びにアソシエイト）の生徒であること。
- 2016 年 12 月 21 日（水）午前 9 時までに必要応募書類を提出すること（時間厳守）

【選抜について】研修生の選抜は、

1) アプリケーションとエッセイ（一次選考）

2) TOEFL iBT 模擬試験による英語コミュニケーション能力（二次選考）

3) 英語面接（二次選考）

を総合して判断します。2) と 3) は一次審査合格者のみに行われ、いずれも 2017 年 1 月 15 日（日）（終日）に実施します。

【募集定員】

上限 40 名まで

【選考日程】応募書類（一次書類選考）提出締め切り：2016 年 12 月 21 日（水）午前 9 時必着（電子メールによる提出）

一次書類選考の結果通知：2016 年 12 月 26 日（月）正午

【応募方法】

（必要書類）

1. 応募用紙と小論文。

2. 英語力証明書（英語力を証明できる書類をお持ちでない場合は、1 のみ提出してください。）

1) 応募用紙と小論文は、上記リンクからダウンロードし、Microsoft Word で記入、署名の上、PDF にしたファイルを送信ください。

2) 英語力証明書も同様に PDF ファイルに保存し、電子メールに添付してください。

3) 上記の書類の送信に際し、日付、時間、内容について「提出を証明する記録」を保存してください。証明書が提示されない場合には、技術的理由であっても締め切り日以降のアプリケーションの受領はできません。

4) 本プログラムの事務局から電子メールを受信できる PC をご用意ください。

5) 2016 年 12 月 22 日（木）12pm 迄に事務局からメール返信がない場合には、問い合わせメールを送信してください。

【選考料】選考料はかかりません。

【二次選考について】

二次選考の詳細については、一次選考合格者に個別にご連絡します。

4. 研修風景

2017 筑波-UBC グローバルリーダーズ・プログラムは、8 校の SGH 指定校・アソシエイトから 25 名の生徒が参加して行われました。

4 月から半年間にわたって行われた研修の様子をご覧ください。

Orientation Camp

2017 年 4 月 1 日（土）～3 日（月）に行われたオリエンテーション・キャンプの様子です。

今年度は SGH 指定校およびアソシエイトの 8 校から 25 名の研修生が集まりました。

筑波大学東京キャンパスで講義を行い、夜は徒歩 5 分の林野会館に宿泊をして、集中的に学習を行いました。

筑波大学講師に加え、アメリカ人留学生、ニュージーランド人留学生、2015 年度筑波-UBC グローバルリーダーズ・プログラム修了生の 3 名の大学生が Student Assistant として授業の補助をしました。



まずは ice break のゲームをしながらお互いの名前を覚えます。



English Communication の授業の一コマ。



外はちょうど桜が見ごろ。研修の一部は外に出て、筑波大学東京キャンパスに隣接する教育の森公園でも行いました。



グループで話し合いながら、英語でスライドをつくり、英語でプレゼンテーションをしました。

Pre-departure Training(筑波大学東京キャンパス)

4 月～7 月の間には、土曜日の午後に 5 回 English Communication の授業が行われました。



英語プレゼンテーションの力をつけて、UBC 研修に備えます。



さらに、Research Methods, Academic Writing, Academic Presentation に関して、筑波大学大学院の外国人講師からノウハウを学びます。



9 月の修了式までには英文 2000 ワードの論文および 10 分間の英文プレゼンテーションを完成させなければなりません。そのため、研修生 2, 3 人に 1 人の割合で筑波大学講師がゼミ指導を行いました。

UBC



ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)のキャンパスです。残念ながら研修風景の撮影は許可されていませんが、午前には各専門分野の授業を受け、午後は UBC スタッフがアクティビティに引率をしてくれます。キャンパス内の寮で宿泊や食事もして、カナダでの大学生活を体感しながら 2 週間の研修期間を過ごします。



今年度、筑波-UBC グローバルリーダーズ・プログラムの研修生 25 名は下記の専門分野に分かれて、UBC の講師から研修を受けました。

- Climate Change: Context, Drivers, Policies and Solutions
- Health Psychology: The Intersection of Psychology and Medicine
- Global Food Security: Challenges, Claims and Solutions
- Digital Trends and Your Future in a Digital World
- The Practice of Leadership in Today's World
- Politics, Economics and Diplomacy in a Global Context
- Applied Ethics
- Clinical Neuroscience: Exploring Brain Dysfunction
- Virtual Reality
- International Politics

Final Presentation & Closing Ceremony

2017 年 9 月 24 日(日)



午前中は Final Presentation です。
各研修生は、筑波大学講師、保護者、研修生仲間などの聴衆を前に、半年間研究してきたテーマに応じて 10 分間の英文プレゼンテーションと 5 分間の質疑応答を行いました。



午後には修了式が行われました。
筑波大学附属学校教育局教育長から一人一人に Certificate of Completion が手渡されました。



修了式後のレセプション。
講師陣、研修生、ご家族も含めての懇談の場です。

5.修了生・保護者からのフィードバック

2017 年度 筑波-UBC グローバルリーダーズ・プログラムを受講した修了生および保護者からいただいたコメントです。

修了生 — *Pre-departure Training* について

What aspect(s) of the pre-departure and post-return programs were useful and should be continued?

- I think that learning how to present, as well as how to use the Chromebook was useful. I also enjoyed my seminars with my advisor very much.
- Almost everything was useful for me.
- Presentation practice was very useful for me because in the UBC I had the opportunity to give 30minutes presentation and if there had not been the lecture I could not overcome the task.
- English Communication and Seminars were especially useful. I felt my skills leveled up when I had my final presentation. Also the lectures were nice.
- I think that the English sessions were useful for me, too. It really helped me gain confidence to speak in front of a big audience. Thanks to the classes, I'm now used to presenting my ideas and I'm sure this is a great thing for my future.

修了生 — UBC について

What aspect(s) of the UBC program were useful and should be continued?

- Making opportunities to make friends with a lot of students from various counties and opportunities to live in the environment filled with high level English and awareness about learning
- The lectures were nice and it gave me opportunity to know about aspects around the world and how foreign students think about them.
- The Leadership Course I took was very interesting and I was able to learn many things. The lectures were also meaningful. The activities were fun and I was able to make many friends.

保護者の声

■カナダへ行く前の事前勉強が充実していた。生徒間の交流を含め、物事の全体像を把握する能力、プレゼン能力が磨かれた。カナダでは多国籍の生徒と共に生活できたことが貴重な経験だと思う。

■最終的な Presentation を見て、子供の成長を肌で感じることができました。ありがとうございました。

■これからの日本の将来を担う子供たち。今まで以上に世界に出ていかないといけないと思います。何度も参加したい子供もいると思います。プログラムの本数や人数を増やし参加希望者全員が参加できるようにすべしと考えます。SGH 対象高校は、短期留学を必須にしてもよいかもしれません。

■意欲的にどれも参加出来、大変充実した研修だったと思います。英語に触れる機会が増え、英語が話せるようになっていたいという気持ちも、より大きなものになったようです。カナダの UBC というのも、環境的にもとても良かったようです。ありがとうございました。

■国内で事前研修があったのは良かったと思います。また、行きっぱなしでなく、帰ってきてからも発表会があったのはとても良かったと思います。

■最終発表会は素晴らしいものでした。英語でプレゼンテーションができるようになっていてびっくりしました。親の私が英語で質問できるとなおいよいと思い、子供たちに刺激を受け英語学習を再びはじめようかと思いました。

■英語力がまだまだ足りないことを痛感したようです。

■参加者でのショートトリップなど UBC での研修以外でも異文化体験ができたことがよかった。日本人が一番英語ができなかったと研修から帰ってきて思ったとのことで、これからの学習意欲につながると思いました。UBC の授業の様子などもう少し写真などで報告があるとよかったと思います。

■大変だったようですが、得たものも多かったようです。

6. About 2017 Global Leaders Program

2017 Tsukuba-UBC Global Leaders Program

[1. Overview of the Program]

This is a pre-university program which aims to develop high school students' global mindsets (psychological aspects) and global competencies (behavioral aspects) required at their developmental stages to become future global leaders.

To achieve the above objectives of the program, three sections, namely, Tsukuba session (Tokyo), UBC session (Vancouver) and Capstone session (Tokyo) are purposefully designed and integrated to form this program. Trainees will study the international standard of learning strategies and research methods that are useful at universities in Japan and overseas, in addition to the specialized course subjects. The language of instruction for this program is completely in English.

English communication lessons are also provided to improve communication skills in the classroom and to socialize with high school students from other countries during UBC sessions.

[2. Structure of the Program]

A. Tsukuba Session (Tokyo Campus, University of Tsukuba)

The Tsukuba session is held two to three Saturday afternoons per month between April-July, 2017. It is composed of a. English Communication, b. Learning Strategy (Research Method, Academic Writing, and Academic Presentation) and c. IRP seminar (Independent Research Project), and each session is taught by the University of Tsukuba professors and affiliates.

Trainees will improve their English communication skills for class discussion, report writing and presentation as well as social interaction with high school students from other countries during the UBC session by having intensive lessons from native English speaking instructors.

Research Method class will teach trainees how to design and complete their research project independently, whereas Academic Writing and Academic Presentation courses will teach how to express the research findings objectively and effectively.

Chief advisors for the IRP seminar will give advice to each trainee to complete the individual project through a small group discussion (3-4 trainees per 1 advisor) and individual consultation.

Tsukuba session will start with 3-day orientation camp between April 1 and April 3, 2017 at Tokyo campus of the University of Tsukuba. Program guidance, ice-breaking activities and basic courses will be given during the orientation camp. This is a resident program and all the trainees will lodge at Rinya-Kaikan, a five minute walk from Tokyo campus. One RA (Resident Assistant) and several SAs (Student Assistant) will stay at Rinya-Kaikan with trainees.

B. UBC Session (Vancouver Campus, University of British Columbia, CA)

After completing Tsukuba Session, trainees will visit UBC (University of British Columbia, Vancouver, Canada) for two weeks during one of the two available terms (Term I: July 16-July30, 2017 or Term II: July 30-August 13, 2017.) The purpose of the UBC session is to expand academic knowledge related to the topic of IRP by taking FGL (Future Global Leaders) courses from UBC professors. It is also a great opportunity to have cross-cultural interpersonal communication by studying and living together with Canadian and other international students coming from more than 20 countries.

Course description for 2017 FGL courses can be checked at the following URL.

<https://extendedlearning.ubc.ca/programs/future-global-leaders>

C. Capstone Session (Tokyo Campus, University of Tsukuba)

Capstone session is designed to wrap up the Tsukuba and UBC sessions by submitting a final report (within two weeks after returning from UBC training) based on the Independent Research Project. Trainees will present the project findings at the final presentation on September 24, 2017. University of Tsukuba faculty will assess and give comments for each presentation.

Best Paper Award

Based on the achievement of the final report and the final presentation, the winner for the Best Paper Award will be selected.

[3. Application and Selection]

A. Requirements for Application

In order to apply for this program, an applicant must meet the following two conditions.

- 1) A student of an SGH affiliated school (both members & associates) as of April 1, 2017.
- 2) Submit an application with essay by no later than **December 21, 2016 at 9 am by email.**
(Please observe the deadline strictly.)

B. Selection

Selection of the trainees will be decided comprehensively by 1) Application with essay, 2) English communication ability assessed by TOEFL iBT and 3) Interview in English. Both 2) & 3) will be held on January 15, 2017 only for those who passed the first screening (application with essay).

C. Number of Trainees

Number of trainees to be admitted is up to 40.

D. Screening Schedule

The Deadline for Application and Essay: **21 December, 2016 at 9 am by Email**

Announcement of the Result of Document Screening: **December 26, 2016**

English Assessment & Interview: **January 15, 2017**

Announcement of the Final Result: **January 23, 2017**

There is no screening fees. However, successful candidates are required to agree to take the English test (TOEFL) once at the time of screening and another after the UBC session, and the results of TOEFL score is solely for the purpose of the SGH's research (no individual nor school names will be disclosed).

[4. Program Schedule]

A. Orientation Camp

Dates: April 1, 10:00 AM-April 3, 12:00 PM

Location: University of Tsukuba, Tokyo Campus

Accommodation: Rinya-Kaikan (5-min-walking distance from Tokyo campus)

Program:

Program Guidance

Ice breaking activities

English Communication Lessons

Introduction to Research Method

B. Tsukuba Session (Saturdays)

a. Schedule for Tsukuba Session (April-July, 2017)

Dates	Lessons
April 15	English Communication 1 (14:00-17:00)
April 22	Lecture 1 (14:00-15:20), Seminar 1 (15:30-17:00)
May 13	English Communication 2 (14:00-17:00)
May 20	Lecture 2 (14:00-15:20), Seminar 2 (15:30-17:00)
May 27	English Communication 3 (14:00-17:00)
June 10	Lecture 3 (14:00-15:20), Seminar 3 (15:30-17:00)
June 17	English Communication 4 (14:00-17:00)
June 24	Lecture 4 (14:00-15:20), Seminar 4 (15:30-17:00)
July 8	Lecture 5 (14:00-15:20), Seminar 5 (15:30-17:00)
July 15	English Communication 5(14:00-17:00)

C. UBC Session

Dates: Term I: July 16-July 30, 2017 Term II: July 30-Aug 13 (Either Term I or Term II.)

Location: University of British Columbia, Vancouver Campus, Canada

a. Course selection

Each trainee will be assigned to one of the several courses offered either during Term I or Term II of the UBC session. There is a limit to the maximum number of trainees for each course in order to keep an appropriate percentage. The applicant has to indicate his/her priority from 1 to 6 on the application form. In case the number of applicants exceeds the allocated slots, the course will be determined based on the screening scores

b. Structure and schedule

The two-week session at UBC offers morning classes, afternoon workshops, after school activities, evening programs as well as excursion on the weekend. Course structure and sample schedule can be found in the UBC's FGL web site.

D. Capstone Session

a. Final Paper

Each trainee is required to submit an individual final paper (minimum 2,000 words including figures & tables) by email within two weeks after returning from the UBC Session.

Deadline for Term I: August 14, 2017

Deadline for Term II: August 28, 2017

b. English (TOEFL) Assessment

Trainees are required to take the official TOEFL test after returning from the UBC session in September, 2017.

c. Presentation Rehearsal

Group seminar will be held to practice for the final presentation.

Date: September 2, 2017

Time: 2:00-4:00 pm

d. Final Presentation

Date: September 24, 2017 (AM)

Location: University of Tsukuba, Tokyo Campus

Format: 10 min. presentation + 5 min. Q&A

e. Closing Ceremony

Closing ceremony is scheduled in the afternoon of September 24, 2017. Certificate of Completion will be conferred from the Vice President of the University of Tsukuba at the ceremony.

[5. Program Fees]

JPY 580,000 all-inclusive to cover the following items.

- Accommodation and meals during Orientation Camp (April 1-3, 2017)
- Tuition fees and study materials for Tsukuba, UBC, and Capstone sessions.
- Airport pick-up and drop-off between Vancouver airport and UBC campus.
- Accommodation in the student dormitory, three meals on UBC campus and costs of activities participation.
- Insurance for studying at Tsukuba and Capstone sessions
- Medical insurance for studying at the UBC session.
- One TOEFL test (after the UBC session)
- A Tsukuba-UBC program original T-shirt.
- Round trip airfare between Tokyo (Haneda) and Vancouver.
- Closing ceremony and reception fee.

* Overseas travel insurance, eTA, personal expenses are not included in the program fees.

* University of Tsukuba will provide laptop computers for students during the program.

* Students will be accompanied by some staff of Tsukuba during UBC session.

* 記載されている情報は 2017 年度時点のものになります